



# 笹中だより

学校教育目標

自立 自ら学び

共生 互いを支えあい

創造 未来を創る笹中生

横浜市立笹下中学校 TEL 045-841-1333 令和4年10月31日(月)11月号

笹中HP <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/jhs/sasage/>



副校長 小灘 洋生

## 合唱コンクールでつないでいくもの

コロナ禍のため、それまで普通に行っていた行事がそのままではできなくなってしまいました。そんな生活も3年目に入りました。誰にとっても長い期間ですが、中学校にとって3年間というのは特に意味が大きいです。在籍している生徒たちが、その行事を誰も経験していない状態になります。今回、3年ぶりに外に出て実施することのできた合唱コンクールも、決して簡単なものではありませんでした。合唱コンクールを経験したことがあるのは3年生のみ。しかも、3年生が1年生の時はすでに新型コロナウイルス感染症の影響を受け、外には出ず体育館で実施の上、全校で集まることもできませんでした。



その中で、実行委員を中心に計画し、運営をしました。イメージのない中で実施にまでたどり着くのはやはり簡単なことではありません。まず実施できたということについて、実行委員の皆さんのがんばりをたたえたいと思います。

さて、実際の合唱コンクールがどうだったかというと、とても素晴らしいものでした。

その日だけのがんばりではありません。学級では曲の選定から始まり、パートごとの練習、学級全体での練習と各学級で練習と話し合いを重ねてきました。学級でぶつかり合い、高めあう大切な期間であったと思います。そうやって作り上げてきた合唱は、どの学級も素晴らしいもので、甲乙つけがたいものでした。どの学級の合唱にも拍手を送りたいと思います。

また、3学年一堂に会することで上級生がお手本となり、目指す姿を明確にイメージすることができます。今までそうやって引き継がれてきたものが、このコロナ禍で切れてしまうのではないかと心配していました。しかし、この日の姿はそんなことは感じさせない、切れてなどいない、つないでいき、受け取っている姿が見られました。

これからも、笹下中学校の生徒としての目指す姿を引き継いでいってほしいです。

最後になりましたが、10組のトーンチャイム、合唱部、吹奏楽部の演奏もとてもエキサイティングで楽しませてもらいました。また、お忙しい中おいでいただいた保護者の皆様、多くの拍手をありがとうございました。